

ブースNO. 56	提案名 ゴムホース(素管)の一貫生産によるQCD改善	工法 押出成形
---------------------	--------------------------------------	------------

会社名 弘進ゴム株式会社	所在地 仙台市若林区河原町2丁目1番11号
------------------------	--------------------------

海外生産拠点国 国名: (無)	認証取得 ISO 9001 ISO 14001 主要取引先 トヨタ自動車・富士重工業・いすゞ自動車 ダイハツ工業・日産車体
海外進出計画 国名: (無)	
輸出(実績)計画 国名: アメリカ・タイ・中国・台湾	

提案のねらい 内層ゴム押出に始まるゴムホース素管作製工程を一貫化する事により、工数・材料ロスの削減を狙う。	適用製品・応用分野 自動車用パワーステアリングホース ウォーターホース 灯油・軽油用 燃料ホース ラジエーターホース	開発進度																	
		アイディア段階	試作実験	開発完了	製品化完了														
<table border="1"> <tr><td>コスト</td><td>◎</td><td>・ 大幅な削減可能</td></tr> <tr><td>新規性</td><td>○</td><td>・ 一般普及している部分あり</td></tr> <tr><td>機能</td><td>○</td><td>・ 問題無し</td></tr> <tr><td>製品への波及効果</td><td>○</td><td>・ 現行品比較で性能遜色無し</td></tr> <tr><td>環境配慮</td><td>◎</td><td>・ 廃棄材料の削減が可能</td></tr> </table>	コスト	◎	・ 大幅な削減可能	新規性	○	・ 一般普及している部分あり	機能	○	・ 問題無し	製品への波及効果	○	・ 現行品比較で性能遜色無し	環境配慮	◎	・ 廃棄材料の削減が可能				
コスト	◎	・ 大幅な削減可能																	
新規性	○	・ 一般普及している部分あり																	
機能	○	・ 問題無し																	
製品への波及効果	○	・ 現行品比較で性能遜色無し																	
環境配慮	◎	・ 廃棄材料の削減が可能																	

技術内容

従来工法・構造・材料等			提案工法・構造・材料等																														
内層押出	編組	外層被覆	内層押出・スパイラル補強・外層被覆・素管カット																														
<table border="1"> <tr><th>工程</th><th>人員</th><th>工程滞在</th></tr> <tr><td>押出～カット</td><td>5</td><td>7.0時間</td></tr> </table>	工程	人員	工程滞在	押出～カット	5	7.0時間	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>従来工法</th></tr> <tr><td>工程滞在時間</td><td>100%</td></tr> <tr><td>仕上り製品コスト</td><td>100%</td></tr> <tr><td>製品デリバリータイム</td><td>100%</td></tr> </table>		項目	従来工法	工程滞在時間	100%	仕上り製品コスト	100%	製品デリバリータイム	100%	<table border="1"> <tr><th>工程</th><th>人員</th><th>工程滞在</th></tr> <tr><td>押出～カット</td><td>2</td><td>0.5時間</td></tr> </table>	工程	人員	工程滞在	押出～カット	2	0.5時間	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>新工法</th></tr> <tr><td>工程滞在時間</td><td>7.1%</td></tr> <tr><td>仕上り製品コスト</td><td>75%</td></tr> <tr><td>製品デリバリータイム</td><td>66.6%</td></tr> </table>		項目	新工法	工程滞在時間	7.1%	仕上り製品コスト	75%	製品デリバリータイム	66.6%
工程	人員	工程滞在																															
押出～カット	5	7.0時間																															
項目	従来工法																																
工程滞在時間	100%																																
仕上り製品コスト	100%																																
製品デリバリータイム	100%																																
工程	人員	工程滞在																															
押出～カット	2	0.5時間																															
項目	新工法																																
工程滞在時間	7.1%																																
仕上り製品コスト	75%																																
製品デリバリータイム	66.6%																																
※工程滞在は成形ホース1000本分の素管作製について																																	

ポイント ①製品コストの低減 ②製品デリバリータイムの短縮 ③製品品質(性能)の低下無し ④多品種(多用途)ホースの生産が可能	課題 ラジエーターホース等、現在未着手の分野への適用を目指し、生産技術による更なるQCD改善を行う。それにより新規顧客・新製品の獲得を図る。
--	--

新旧比較(自社比)	工程滞在時間	ホース性能(耐圧性等)	仕上り製品コスト	製品デリバリータイム

新素材、環境、品質への波及効果	ゴム材・補強用糸の材質を問わず使用可能であり、寸法・耐圧性といったホース性能の低下も無く、歩留まりも良好である為、今後も用途を問わず多岐に亘る展開が見込まれる。
------------------------	--

問合せ先	部署: 化工品販売部 名古屋チーム	担当者: 北村 亘
	TEL: 052-412-2711	E-mail: kitamura@kohshin-grp.co.jp